

SSHマンスリー

スーパーサイエンスハイスクール通信



SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは?



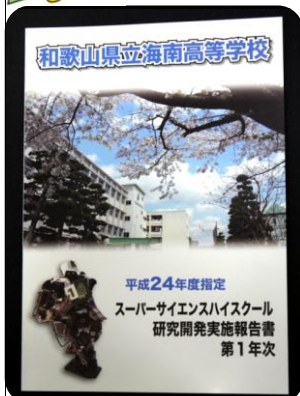
新入生の皆さん、入学おめでとうございます。海南高校での新しい学校生活に徐々に慣れてきたでしょうか？

オリエンテーションでも説明がありました。SSHが、海南高校の特色の一つとして、SSHがあります。そこで、SSHマンスリー第一号では、前年度の活動内容を中心にSSHについて紹介いたします。

SSHとは、「スーパーサイエンスハイスクール」の略で、未来を担う科学技術系人材を育てることを狙いとして、理数系教育の充実をはかる取り組みを行っています。上部のイラストは、本校SSHのキャラクターで、左がカイくん、右がナンちゃんです。和歌山のみかと黒江漆器をイメージしています。

昨年は、教養理学科だけでなく、普通科も対象にして活動が行われ、生徒や保護者の皆様からのアンケートからも、高い評価を頂いています。主な活動としては、課題研究(SITP)、学生・中学生を対象とした科学実験(SS I)、特設課外授業、特別講義、特別講演があります。

昨年の課題研究のテーマは「確



率の三つの問題についての研究」「Kinectを用いたロボット操作」「化学的酸素要求量CODによる水質調査について」「フルーツ石けんろうそく」「紀伊半島の地質と歴史」「有機キレート剤による金属量の測定」、科学部では「色素増感光電池の還元糖による効率の向上に関する研究」「キシノウエトタテグモの研究」「金環日食」などが、研究・発表され、科学部では、各種コンテストにおいて数々の賞を受賞することができました。



科学部主催のSSI活動では、年間に四回のペースで、海南市内の小学校を中心に授業を行っています。一回の授業は一時間から半日程度で、児童生徒を対象に液体窒素を使った科学実験や、色の変わる液体等、対象とする児童生徒に合わせて授業を行います。参加した生徒は、子ども達の素直な反応を見ることができ、先生を目指したいという人もぜひ一度参加してみてください。

科学部主催のSSI活動では、年間に四回のペースで、海南市内の小学校を中心に授業を行っています。一回の授業は一時間から半日程度で、児童生徒を対象に液体窒素を使った科学実験や、色の変わる液体等、対象とする児童生徒に合わせて授業を行います。参加した生徒は、子ども達の素直な反応を見ることができ、先生を目指したいという人もぜひ一度参加してみてください。



特設課外授業は、臨海実習・関東研修・関西研修等があります。今年度の日程は下記のとおりです。

臨海実習は、四十三年間継続して実施されており、和歌山市加太の海岸での磯観察やクリーソ作戦を行います。関東研修では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)での研修やSSH生徒研究発表会への参加を企画しています。また、関西研修では、神戸大学や高輝度光科学研究センター(Spring8)で研修を行う予定です。

どの活動も、貴重な経験となるので、充実した高校生活を送るためにも積極的に参加してください。

SSH活動の詳細は、「課題研究発表要約集」「研究開発実施報告書(上部写真)」に記載しています。気になる人は、図書館に置いてあるので、一度手に取って読んでみてください。

科学部募集!!

科学部では、課題研究のテーマに分かれ、フィールドワークに出かけたり、実験を行ったり、様々な活動を行っています。また、SSI活動も科学部を中心に行っているので、こんな研究がしてみたい、SSIに参加してみたいという人は、兼部や一部のイベントにのみ参加ということも可能ですので、ぜひ一度、科学部を見学に来てください。放課後、化学教室で活動しています。



今後の予定

- 5月24日 臨海実習(1年生全員)
- 7月上旬 SSH特別講義(教養理学科)
- 7月下旬 夏季特設課外授業「近畿大学原子力研究所」
(1年教養理学科)
- 8月5~7日 夏季特設課外授業「関東研修」
(1年生希望者)
- 8月下旬 夏季特設課外授業「関西研修」
(2年希望者)

